

環境への影響が少ない冷媒への転換

EYELAでは、フロン冷媒を充填した冷凍機搭載製品を温室効果の小さい低GWP冷媒(GWP値2500未満)やノンフロン冷媒を使用した製品へ転換する取組みを進めています。

低GWP冷媒への転換

GWP: GLOBAL WARMING POTENTIAL

地球温暖化係数(GWP)とは

二酸化炭素を基準にして、ほかの温室効果ガスがどれだけ温暖化を進めてしまう力があるか表した数字のことです。単位質量(例えば1kg)の温室効果ガスが大気中に放出されたときに、一定時間内(例えば100年)に地球に与える放射エネルギーの積算値(すなわち温暖化への影響)をCO₂に対する比率として見積ったものです。

※出展: JCCCA 全国地球温暖化防止活動推進センター
「地球温暖化係数(GWP:Global Warming Potential)について知りたい」より引用

■製品に対する低GWP冷媒への転換

フロンガスを充填した冷凍機搭載製品で使用する冷媒を温室効果の小さい低GWP冷媒(GWP値2500未満)に転換する取組みを進めています。

対象装置群: 冷却水循環装置、低温恒温水槽、低温恒温器、照明付インキュベーター、光安定性試験器、温度勾配恒温器、投込みクーラー、冷却トラップ装置、凍結乾燥機 など

EUの新Fガス規制(Regulation(EU)No 517/2014)では、高GWPガスをGWP値2500以上と定義し、高GWPのFガスを使用している製品・機器の市場販売禁止、サービス・メンテナンスにおける高GWPガスの使用禁止としています。

EUの新Fガス規制とは
フッ素化している温室効果ガス(Fガス)の放出削減によって、環境を保護することを目的とした規制。(2006年にEUで定めたFガス規制を2015年1月1日付でさらに厳格化したもの)

■低GWP冷媒を搭載した製品



2016年2月以降に生産された冷凍機搭載製品には製造番号プレートにGWP値を記載しています。また、2020年8月の生産分より、充填したフロンガスのGWP値が2500未満の製品には専用のシールが貼られています。今後、低GWP冷媒採用製品の識別として、ご活用ください。

EYELA低GWP冷媒採用製品

冷媒 ヘリウム GWP値 0	マグネチックスターラー付アルミブロック低温槽 PSL-2500A・B・P型 小型凍結乾燥機 FDS-1000・2000型
冷媒 R134a GWP値 1430	開放系低温恒温水循環装置 CTP-1000型 リフラックス用冷水循環装置 ACE-2000型 低温恒温器 LTE-510・1010型、LTI-400E・700E型 恒温恒湿器 KCL-2000A・2000W型 振盪機用低温恒温チャンバー FMC-100・1000型 投込みクーラー ECS-0型 小型冷却トラップ装置 UT-500A・500B型
冷媒 R407C GWP値 1770	冷却水循環装置 CA-1116A・1113・1330型 CA-1115型シリーズ CA-2610・2610S型 CA-2600C・F型 NCA-1000型 大型冷却水循環装置 CA-3110・4110型シリーズ CA-3310・4310型シリーズ CA-H・WH型シリーズ
冷媒 R410A GWP値 2090	低温恒温水循環装置 NCC-3000A・B・C・D型、NCC-3100A・B・C・D型

■具体的な取組み

GWP値2500以上の高GWP冷媒充填機種は、順次低GWP冷媒化への転換を進めています。現在は、冷却トラップ装置UT-1000型と低温恒温水槽NCB-1210A・B型の低GWP化を進めています。

※2020年9月末発売予定

